

誰もが感じる疑問に 予想外の答えを示す書

選書&コメント/藤井孝一 経営コンサルタント、ビジネス選書家



『ヤバい経済学 悪ガキ教授が世の裏側を探検する』

スティーヴン・レヴィット、スティーヴン・ダブナー／著
1890円（税込み）東洋経済新報社

米国の新進気鋭の経済学者による同ベストセラー。100万部を超える売上を記録した本書がきっかけで、全米では経済学ブームが巻き起こったそうだ。

世の中には、常識とされながら、実は間違いということが少なくない。本書は、そんな世の中の常識を幾つも取り上げ、膨大なデータと、経済学的手法で覆していく。

例えば「勉強のできる親はどんな人か?」「名前と成功の因果関係は?」「アメリカの犯罪件数が激減した理由は何か?」「安全性の高い子どもの遊びは何か?」等、誰もが関心を持つ疑問に、予想を

裏切る意外な答えを示す。経済学というと難解な数式やグラフを連想しそうだが、本書には、数字すらほとんど出てこない。経済について予備知識が無くても、単純に読み物として十分に楽しむことができる。「難しいことを簡単に表現できる人こそ一流」と言うが、本書を読めばそれが本当であることを実感できるはずだ。

自分の計数感覚が会社の命運を左右する経営者や幹部、日夜数字と格闘しているマーケティング担当者はもちろん、数字を味方に付きたい全てのビジネスパーソンに一読をお勧めしたい。

SCAPE
トップのための情報源



『ネット広告のすべて』

紅瀬雄太・足代訓史／著
1890円（税込み）ディー・アート

ネット広告を理解し WEB2.0な経営者に

ネット広告は、ユーザーの属性、嗜好、行動履歴に合わせてWEBページに表示する広告内容を変えられることができ、広告効果も測定でき、それはマス広告にない特徴であり、またマス広告と同程度に普及が進んでいるため、その訴求力には多くの企業が注目している。ネットを通じて上手く顧客接点を持つことが、企業の成長に繋がると著者は説き、その種類や料金体系の仕組み、専門用語などを分かりやすく解説。業界全体が体系的に把握できる一冊。

社員60人の小さな会社が個人情報保護法対策に悪戦苦闘したノウハウ満載のドキュメント。法施行の直前、取引先に「おたくの保護法対策は大丈夫か?」と尋ねられ、初めて当事者であること知った小さな会社。コンピュータシステムにはID、パスワード不要で誰でもログイン可能。通路には貴重な書類の入った段ボールがごろごろ。そんな会社が如何に対策を行なっていったのか。ありのままの記録は中堅中小企業の保護法対策に大いに参考になるだろう。

『小さな会社は「個人情報保護法」 にどう立ち向かったか』

井上明義／監修 橋本淳司／著
1365円（税込み）
PHP研究所



保護法対策を機に
社内風土が変わった